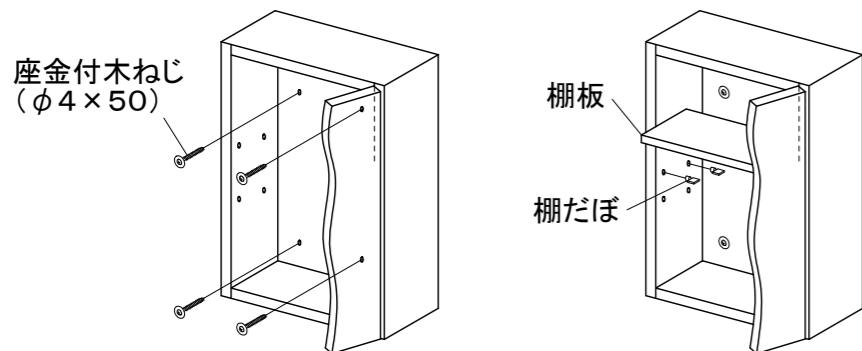


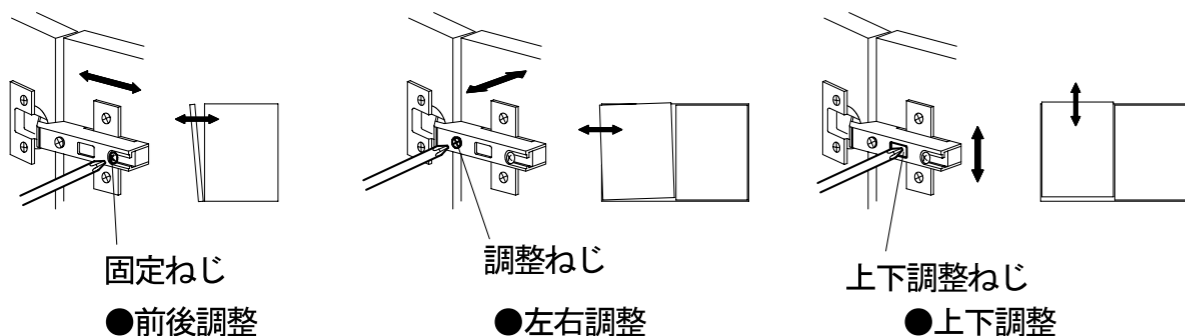
■壁収納棚の取り付け

- ・所定の位置に座金付木ねじ（φ4×50：4本）で壁に固定します。
- ・側面の穴に棚だぼ（4個）を差し込み、棚板を設置します。



■扉の調整

- 扉にふぞろいが生じた場合、扉の調整を行なってください。
- 前後調整
固定ねじをゆるめて扉を前後に動かし調整します。調整後は固定ねじを締め直します。
- 左右調整
固定ねじを締めたまま調整ねじを回して調整します。（調整後は固定ねじを増し締めしてください）
- 上下調整
上下の蝶番の上下調整ねじ（四角の窓の奥）をゆるめて扉を上下させ調整し、上下調整ねじを締め直します。



施工後の確認

■手洗器、キャビネット等の固定の確認

- (1) 手洗器、キャビネット等の取付ねじが十分に締まっているか、ゆるみがないことを確認します。
- (2) 手洗器、キャビネット等自体にガタツキ、壁とキャビネットのすき間がないことを確認します。
- (3) ねじのゆるみ、キャビネットのガタツキがある場合は必ずねじ位置をかえて取り付け直します。

■吐水量、排水量の確認

- (1) 水栓から吐水させて手洗器の外への水はねがないよう止水栓を開閉して流量の調整をします。（吐水量は、毎分4リットルが目安です）

■給水、排水接続部の確認

- (1) 水栓金具から吐水させ、止水栓、水栓金具の各接続部からの水漏れのないことを確認します。
- (2) トラップ、排水管の各接続部からの水漏れのないことを確認します。

ジャニス工業株式会社

本 社 〒479-8577 愛知県常滑市唐崎町2丁目8番地 TEL (0569) 35-3151

Janis 施工説明書

手洗器・手洗キャビ・手洗カウンター

〔L353タイプ〕

SDK型
LTCK型
LTC型

施工に際しては、必ずこの施工説明書に従い正しく施工してください。
この施工説明書は、取扱説明書と共にお客様に保管頂くよう依頼してください。

FP368-1 15.03

安全のために必ずお守りください

- ここでは施工に際して守って頂かないと人身事故や家財の損害に結び付く注意事項を挙げています。施工前にこの項目をよくお読みいただき、正しく施工してください。

用語および記号の説明

警告……取り扱いを誤った場合、使用者が死亡、または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます
注意……取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う可能性、および物的損害の発生が生じることが想定されます

- ⚠ ……「注意しなさい！」（上記の『警告』、『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください）
- 🚫 ……「してはいけません！」（一般的な禁止記号です）
- 📢 ……「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です）

⚠ 警告

- 📢 給排水工事・電気工事は、関連する法規・規定に従って有資格者が行なってください（漏水や火災、感電のおそれがあります）
- 🚫 浴室など高温多湿な場所や、水に浸る可能性がある床面には設置しないでください（キャビネットの劣化、電気用品を使用する場合は感電のおそれがあります）
- 🚫 ストーブやヒーターなど熱を発生するものの近くに設置しないでください（変色や変形、火災をおこすおそれがあります）
- 📢 手洗器、キャビネット等の固定位置には、壁裏の補強をしてください（取付物の落下、転倒によりけがをするおそれがあります）
- 🚫 修理技術者以外の方は、絶対に修理、改造は行なわないでください（漏水などの原因になります）

⚠ 注意

- 📢 給水は上水道に接続してください（皮膚の炎症などをおこすおそれがあります。また器具の故障につながります）
- 📢 工事完了後に、手洗器、キャビネット等の固定にがたつきがないか確認してください（使用中に落下してけがをするおそれがあります）
- 📢 工事完了後に、給排水管から漏水がないか確認してください（漏水による家財に損害を与えるおそれがあります）
- 📢 凍結のおそれがある地域では、凍結防止の工事を行なってください（配管が凍結破壊し、家財に損害を与えるおそれがあります）
- 🚫 製品に強い力や衝撃を与えないでください（故障や漏水の原因になります）
- 🚫 直射日光が当たる場合は必ずカーテンなどでさえぎってください。またスポット照明や殺菌灯を直接当てないでください（変色や変形の原因になります）
- 🚫 不陸が5mm/2mを越える場所には施工しないでください（不陸があるまま施工するとキャビネットがひずむ場合があります）
- 🚫 酸性、アルカリ性および塩素系の洗剤類、ベンジン、シンナー、ラッカー、アルコール等の溶剤や油類を使用して、キャビネット等を拭かないでください（変色や変形の恐れがあります。溶剤がつかますと跡が残ることがあります）

